

【ねがいはしては】

平成13年1月29日

第131号

KYOWA SCHOOL

「嵐のスケート」

毎年、1月冬休みの終わりごろ、年1回のアイススケートがあります。当日突然参加OK！のこの行事は、ふたを開けてみなければわからない行事です。すべる前にすべってしまえ！と、受験生達には少々「気」になる行事に聞こえます。

当日、あいにくの嵐！こんな天候ではいくらなんでも来るはずないな、と思いきや！TOTAL 10人。えっ！私としては予想外の人数でした。

スケート場はほとんど貸し切り状態で、みんな思い思いに滑っています。こういう時が彼らの性格がはっきりと出るので。当たって砕けろ、ころಂಡってケロッとしている子もいれば、手すりのお掃除にいそしんでいる慎重派もいるし、マイペースですーいすーいと上手な子もいます。

中でも流石子供だと思ったのは、加速をつけていって、自分からこけるんです。そして氷の上をサーッ！とすべる。これを何度も何度も繰り返し楽しんでいます。オーッ！こういう楽しみ方もあったのだ、と感心しました。

自由奔放は、得てして新発見をもたらす。やはり子供は自由に生き生きとするのが一番だと思います。お定まりの世間体ばかり気にしながら、生き方を自分で気がつかぬうちに制約している大人たちのなんと多いことか。

受験生達も、いろいろに取り組み方がみられます。「勉強」そのものからの自分の中に出来上がってしまった「固定意識」から結局脱出できずに、「きらい」なまま歩いている子。最もかわいそうな子です。自分から好んで嫌いになったわけではないので、よけいにその点では「ストレス」を感じると思います。人のせいにしても解決はしません。

「とにかく早く決めてしまいたい派」が最も多いと思います。それは当然の心理でしょう。早くこの重苦しい重圧から開放されたいと思うのはあたりまえ。年々公立高校の推薦入学を希望する生徒は多くなるばかり。

そして私が最も人らしく歩いていると思うのは、将来の目標に向かって歩きつづける姿。

高校入試というものは、人生の目標のひとつの通過点。落ちたからもう人生失敗の答が出たのか？と考えればわかるはず。どのようなことでも失敗失敗の連続のはてに・・・やっと大成功。のはず。自分で自分の心のコントロールができれば一番良いのだと思いますが、目標の高校が合格しようが失敗しようが、その先にある目標はいたって変化なしのはず。歩くことをやめないはず。

私はこんな歩き方をしている中学3年生がもっとも「人」らしい生き生きとした歩き方をしていると思うのです。たとえ今、目標としている高校が偏差値30であっても、70であっても、ひたむきに歩きつづけるその姿は、とても美しく見えるはずです。

さて、そろそろ学校が決まり始めます。どれだけの中学3年生が、歩みを止めるのか、それとも、たんたんと一日一日を相変わらず歩きつづけるのか。私は心から拍手をしたいのです。

さあどんどんすべりましょう！

「2月の予定」

2月4日(日) 東京湯島天神チビッコそろばんまつり・・・当教室から4名の代表が出席します。

5日(月) 検定試験合格発表

*勝手なお願いで申し訳ありません。新入生募集の封筒をお渡ししました。よろしくお願いいたします。